お手入れの仕方

ボトルバスケット内と挿し込み棒付近

目安はボトル交換時

ボトル容器交換時に、ボトルバスケット内を清潔なふきんや乾いたタオルなどで必ずふき取ってください。
※汚れがひどい場合は市販のアルコール系衛生剤で消毒してください。

挿し込み棒付近は市販のアルコール系衛生剤を含ませた清潔な除菌シートなどで拭いてください。
ボトル容器が挿し込んである時は清掃できませんので必ず行ってください。

本体

目安は1週間に1回

清潔なふきんや乾いたタオルなどで汚れをふき取ってください。また、水を含ませたスポンジや柔らかい布をよく絞りふいてください。
※汚れがひどい場合は中性洗剤で洗浄し、洗剤が残らないよう、よくふいてください。

冷温水蛇口

目安は1週間に1回

清潔なふきんやキッチンペーパーなどを少し濡らして汚れをふき取ってください。細かい部分はブラシ等で清掃してください。
※汚れがひどい場合は市販のアルコール系衛生剤で消毒してください。

背面部分

目安は1ケ月に1回

付着した綿ボコリなどを掃除機で吸い取った後、水を含ませた柔らかい布などをよく絞りふいてください。

水受けポケット

目安は1週間に1回

取り外し方：写真（下）のように水受けポケットを持って上方向に引くと簡単に取り外すことができます。
＊中性洗剤で洗浄し、よくすすいでください。
＊たまり水は捨ててください。

仕　様

商品名	らく楽スタイル ウォーターサーバー smart		
商品寸法 (mm)	D340×W300×H1,100		
重　量	約 20 kg		
冷水タンク	1.6 L	温水タンク	1.25 L
電動機消費電力	85W	ヒーター消費電力	350W

材質：
冷水タンク / SUS304
温水タンク / SUS304
天面パネル / ABS 樹脂
フロントパネル / ABS 樹脂
サイドパネル / 鋼板 (EGI)
底　板 / ABS 樹脂
ボトルバスケット / ABS 樹脂

●冷水容量：6℃～10℃の冷水 10 杯分 (1 杯 /150cc)●温水容量：80℃～90℃の熱湯 5～6 杯分 (1 杯 /150cc)
●定格電圧：AC100V/50～60Hz　●電源コード：1.8m ※製品改良の為予告無く仕様・外観を変更する場合があります。

全国発売元 /
株式会社 コスモライフ
コスモウォーター事業部

取扱説明書＆簡単設置マニュアル

らく楽スタイル ウォーターサーバー smart

レンタル専用商品

安　全　上　の　注　意
（必　ず　お　守　り　く　だ　さ　い）

記　号　と　意　味

警告：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

図記号表示の説明例

感電注意：警告、注意を促す表示です。△の中や周りに具体的な警告内容が記されています。

プラグを抜く：必ずしていただきたい行為を示す表示です。●の中や周りに、具体的な指示内容が記されています。

接触禁止：○に斜線は、してはいけない行為（禁止事項）を示す表示です。○の中や周りに具体的な禁止事項が示されています。

人への危害、財産への損害を防ぐため、お守りいただくことを説明しています。

※本機は日本国内用に設計されています。規格の異なる海外では使用できません。
※製品改良の為、予告無く仕様・外観を変更する場合があります。

この「取扱説明書」は、設置前に必ずお読みください。

設置前によくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

もくじ

ウォーターサーバーの名称と働き …… 2･3
設置上の注意 …… 4
使用上の注意 …… 5･6
設置の仕方 …… 7･8･9
ご使用にあたり
● エコモード …… 9
● クリーンサイクルシステム …10･11
● チャイルドロックの使い方 ……12
● ボトル容器交換方法 ……13
● 水抜き方法 ……13
故障かな？と思ったら …… 14･15
お手入れ方法 …… 16
仕様 …… 16

SSIM150706

COSMOWATER

ウォーターサーバーの名称と働き

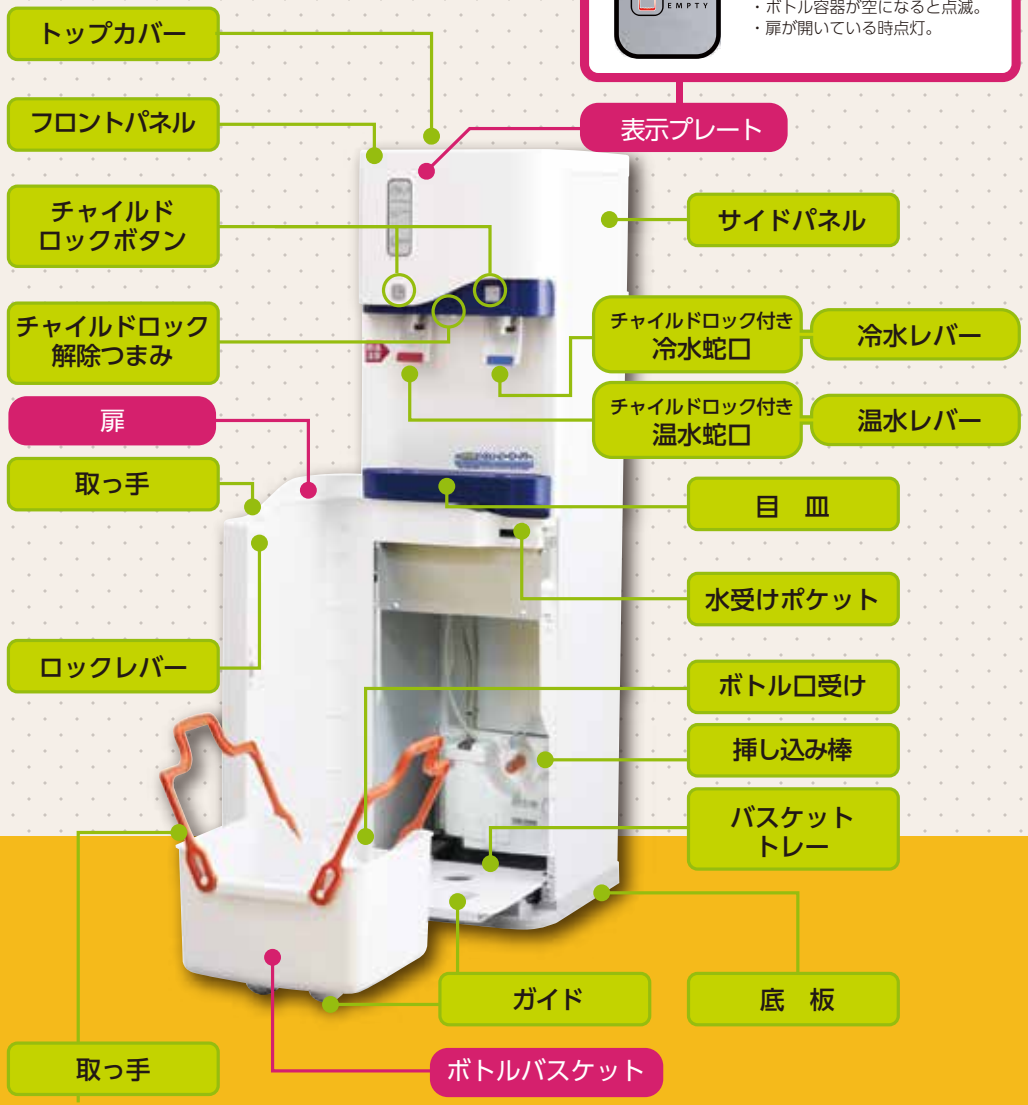
LEDランプの名称と状態の説明

●電源ランプ(青)
・常時点灯。

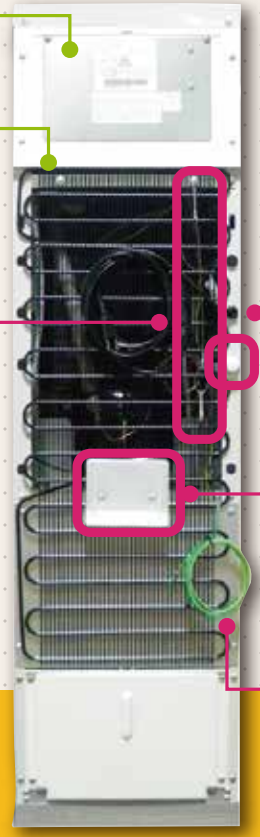
●エコボタンランプ(緑)
・エコモード稼働時点灯。
・クリーンサイクルシステム稼働時点滅。

●容器交換ランプ(赤)
・ボトル容器が空になると点滅。
・扉が開いている時点灯。

エコボタン



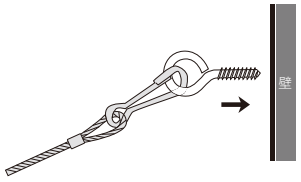
ボトル容器



電源プラグ

転倒防止ワイヤー

ウォーターサーバーの転倒防止の為に取り付けてください。



ワイヤーの先を上図のような留め具(市販品)をご利用いただき、壁や柱に取り付けてください。

注意点

家具を固定できない壁もありますので、壁の種類がわからないときは専門家に相談をしてください。

※本欄の内容は、地震などでの転倒・落下によるケガなどの危害を軽減するためのものであり、全ての地震などに対しその効果を保証するものではありません。

アース取り付け位置

アース線

アースは、確実に接続してください。またご使用中の電化製品のアースと一緒に共有接続頂いても大丈夫です。ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線とは共有接続しないでください。法令で禁止されております。

設置上の注意

⚠ 警告

誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの。

設置場所

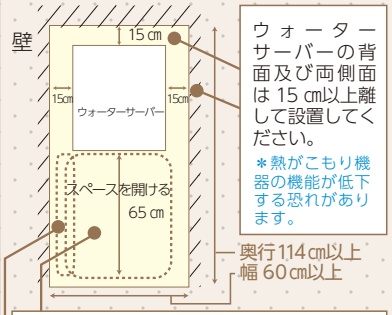
ウォーターサーバーが安定するように設置してください。

- 水平で丈夫な場所。(ウォーターサーバー本体前方 65 ㎝含む)
- じゅうたん、たたみ、塩化ビニール製床材などの上には設置しないでください。
- ウォーターサーバーの下に板、じゅうたん、ブロックなどを敷かないでください。

＊振動や騒音・転倒によるケガ、感電、火災の原因となります。

設置スペース

図は必要最小設置寸法です。



ウォーターサーバーの背面及び両側面は 15 ㎝以上離して設置してください。
＊熱がこもり機器の機能が低下する恐れがあります。

ウォーターサーバーの手前 65 ㎝の範囲には段差になるような障害物は置かないでください。じゅうたん、ホットカーペットなども同様です。
＊故障、破損の原因となります。

扉側 +5 ㎝は扉の開け閉めの為に必要な空間です。

必要水平域は幅 60 ㎝ × 奥行 114 ㎝です。

- 電源はＡＣ１００Ｖ(５０ /６０Hz) 以外使用しないでください。
  ＊延長コードの使用やタコ足配線は火災･感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、引っ張ったり、ねじったり、上に重いものを乗せたり加工、加熱しないでください。
- 電源プラグ、コンセントにホコリが付着していないか確認し、コンセントをプラグの根元まで確実に挿し込んでください。
  ＊火災･感電の原因となります。
- 可燃ガスの漏れる恐れがある場所や、シンナー等の揮発性の高い溶剤等を近くで使用しないでください。
  ＊爆発や火災の恐れがあります。
- アースを確実に接続してください。
  ＊ご使用中の電化製品のアースと一緒に共有接続していただいても構いませんがガス管、水道管、避雷針、電話回線のアース線とは共有接続しないでください。法令で禁止されております。お近くの電気店へご相談ください。
- 日本国内のみで使用してください。

⚠ 注意

誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される、または物的損害の発生が想定されるもの。

- ウォーターサーバーは直射日光が当たらず、高温多湿でない場所に設置してください。屋内専用機器ですので、屋外に設置しないでください。
  ＊機器本体の性能を損なう恐れがあります。
- ストーブなど熱源の近くや機器に水がかかる場所には設置しないでください。
  ＊機器の変形・機能の低下・漏電の原因になります。
- ウォーターサーバーが届いても、すぐには電源を入れないでください。冷媒ガスを安定させるために数時間程度経ってから電源を入れてください。※冷媒ガスが安定しない状態で電源を入れると冷却不良を起こす原因となります。移動したときも同様です。
  ＊一般的な冷蔵庫と同じで冷却冷媒を安定させるための時間です。
- ウォーターサーバーの移動は必ず 2 名以上で行ってください。
  ＊転倒して怪我の原因となります。
- 傷つきやすい床の上で、ウォーターサーバーを引きずらないでください。
  ＊床に傷をつける原因となります。
- ボトル容器をセットしないで、電源プラグをコンセントに挿し込まないでください。
  ＊機器の機能の低下や故障の原因となる恐れがあります。
- 設置後、ウォーターサーバーの内部や冷温水蛇口からの水漏れがないか確認してください。わずかな水漏れがある場合でも使用を中止してください。
  ＊火災･感電の原因になります。

使用上の注意

⚠ 警告

誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの。

- 電源プラグに濡れた手で触れないでください。コンセントに水を掛けないでください。また、電源コードを持って電源プラグを引き抜かないでください。電源コードを束ねず、いたんだ電源プラグやゆるんだコンセントは使わないでください。＊感電したり断線やショートによる火災の恐れがあります。
- 背面の放熱板（配管）を傷つけないでください。＊故障、発火、爆発の原因となります。
- 引き出し内部のホース・チューブ・コード類に触らないでください。引き出し内部の庫内鉄板部には絶対に触れないでください。＊水漏れ、故障、感電、火傷の原因となります。
- 本体や内部に水を掛けないでください。＊火災、漏電の原因となります。
- 背面パネルから棒や指を入れないでください。＊高温の温水タンクでやけどしたり、感電の恐れがあります。

- 焦げ臭い等の異常がある場合は、すぐ電源プラグを抜いてください。
  ＊異常のまま使用を続けると感電や火災の恐れがあります。

- ウォーターサーバーのお手入れを行う場合は、電源プラグを抜いてから行ってください。
  ＊感電する恐れがあります。

- 絶対に自分で分解したり修理を行わないでください。
- 本体を故意に破損させないでください。
  ＊感電や水漏れの恐れがあります。不当な改造や修理による故障、事故については保障いたしかねます。

⚠ 注意 1

誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される、または物的損害の発生が想定されるもの。

- 当社が指定するボトル容器以外は取り付けないでください。＊故障の原因となります。
- ウォーターサーバーの天面（トップカバー）に重いものを乗せないでください。(均等荷重 10kg まで) トップカバーの上に不安定なものを置かないでください。また、オーブントースターなど高温になるものを乗せないでください。＊故障の原因となります。
- ウォーターサーバー本体の上に乗ったり、ぶら下がらないでください。また寄りかかったり、揺すったり、傾けたりしないでください。＊機器の変形、機能の低下をまねいたり、本体が転倒し、ケガ、感電、火災の原因となります。
- ウォーターサーバーは小さなお子様など取扱いに不慣れな方だけで使用したり、乳幼児に触れさせたりしないでください。＊感電・ケガ・火傷の原因になります。
- ウォーターサーバーに貼り付けてあるシール類をはがさないでください。 ＊感電・ケガ・火傷の原因になります。
- 冷温水レバーは手で押さないでください。※コップなどの容器で冷温水レバーを押してください。
  ＊火傷の原因となります。

- 通常使用時は電源プラグを挿したままにしてください。
  ＊抜いたまま放置しますと水質が変化し不快な臭い、味の原因となります。
- ウォーターサーバーへのボトル容器の設置はウォーターサーバーを支えながら、ゆっくりと確実に行ってください。＊強い衝撃を加えますとボトル破損、ウォーターサーバー本体が転倒の恐れがあります。
- ウォーターサーバー背面の放熱板（配管）、また電源コンセントなどのホコリは必ず定期的に取り除いてください。＊機器の機能の低下、火災などの原因になる恐れがあります。

- 背面の放熱板（配管）に手や足を触れないように注意してください。
  ※まれに背面や側面が熱を帯びることがありますが効率的に放熱を行うための放熱作用です。
  ＊ケガ、火傷の原因となります。
- ウォーターサーバーの角部、扉の角部に注意し、衝突などしないように注意してください。
  ＊小さなお子様の場合、頭をぶつけてケガをする恐れがあります。

- 温水は高温のため、火傷に十分ご注意ください。
  ＊チャイルドロックがありますが、お子様が温水レバーに触らないように注意してください。

- 長期間（２週間以上）使用しない場合はボトル容器を外してウォーターサーバー内の水を抜き、電源プラグをコンセントから抜いてください。＊水質変化と絶縁体劣化による感電や漏電の原因となります。

使用上の注意

⚠ 注意 2　誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される、または物的損害の発生が想定されるもの。

- 冷温水レバーはゆっくりと押し、ゆっくりと戻してください。
  ＊コップなどが破損し、ケガ、火傷の原因となります。

- 正面にある表示プレートの 3 つのＬＥＤランプが同時に消灯した場合は、故障のサインです。すぐに使用を停止し、電源プラグを抜いてください。（14 ～ 15 ページ「故障かな！？と思ったら」参照）＊本体を交換させていただきます。

- ボトル容器をセットしないで、電源プラグをコンセントに挿し込んだままにしないでください。
  ＊機器の機能の低下や故障の原因となります。

扉・バスケットトレーまわり

扉を開閉する際、ご注意ください。

- 扉を開閉するときは、隙間に手や足を挟み込まないように注意してください。また、周りに小さなお子様がいないことを確認してから行ってください。＊ケガの原因となります。
- ボトル交換時の扉の開閉は、周りに何もないことを確認してゆっくりと行ってください。開閉時は強い衝撃を与えないでください。
  ＊破損の原因になります。
- バスケットトレーと本体の間に足や手を挟まないよう注意してください。
  ＊ケガの原因となります。

- 扉の上に乗らないでください。また体重をかけないでください。
  ＊機器の変形、機能の低下をまねいたり、本体が転倒し、ケガ、感電、火災の原因となります。
- 扉の右上にある取っ手を持ち、開閉してください。絶対に取っ手以外を持っての開閉はお止めください。
  ＊ケガの原因となります。
- 黄色の部分を持って扉を開け閉めするのは絶対にお止めください。

- 扉の中に、頭や体を入れないでください。＊感電・ケガ・火傷の原因になります。また、幼児閉じ込みのおそれがあります。
- バスケットトレーを本体から外したまま使用しないでください。＊破損の原因になります。
- バスケットトレーに乗ったり、体重をかけないでください。
- バスケットトレーに強い衝撃を与えないでください。
  ＊機器の変形、機能の低下をまねいたり、本体が転倒し、ケガ、感電、火災の原因となります。

扉の内側の角が鋭く尖っている箇所がありますので、ケガをしないようご注意ください。

ボトルバスケットまわり

- 取っ手とボトルバスケットの接合部に手や指を挟まないようにしてください。
- ボトルバスケットを持ち上げるとき、取っ手と取っ手の間に手や指を挟まないようにしてください。
- ボトルバスケットを振り回さないでください。
  ＊ケガの原因となります。

- ボトルバスケットの中に手・足・体等を入れないでください。
- ボトルバスケットの上に乗らないでください。
- ボトルバスケットの下に足や手を入れないでください。
- ボトルバスケットを持ち上げたり、移動させるときは、取っ手を中央に揃え、両取っ手の中央部分を持ち、垂直にゆっくりと持ち上げてください。
- 取っ手を片方だけ持ってボトルバスケットを持たないでください。
  ＊機器の変形、機能の低下をまねいたり、本体が転倒し、ケガ、感電、火災の原因となります。

- ボトルバスケットを本体にセットするときは、必ずバスケットトレーに乗せてセットしてください。
  ＊機器の変形、機能の低下をまねいたり、水漏れ、ケガ、感電、火災の原因となります。

設置の仕方 1

⚠ ウォーターサーバー、水ボトル容器は個別に配送されます。すべてそろってから設置をしてください。必ず水ボトル容器をセットしてから電源プラグをコンセントに挿し込んでください。

1 段ボールからボトル容器を取り出す。

ボトルキャップのキャップシール（密閉シール）をはがします。

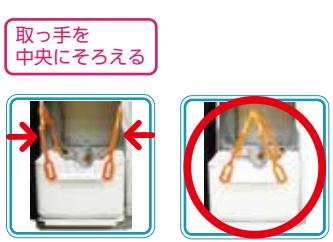
ボトルキャップが上になるように水ボトルを起こします。

2 扉右上の取っ手にあるロックレバーをにぎり、手前に開く。

取っ手にあるロックレバーをにぎりながら手前に開く。

⚠ 取っ手以外を持って扉を開けないでください。扉に手や足をはさまないように注意してください。

3 中のボトルバスケットの両取っ手をそろえてにぎり、手前にスライドしボトルバスケットを引き出す。



※取っ手が開いたまま出し入れすると、破損のおそれがあります。

初回設置時のみ注意

初回設置のとき、扉の中、奥の挿し込み棒に黄色いキャップがついています。必ずキャップを外してから水ボトルをセットしてください。

4 ボトルバスケットと水ボトルを合わせ入れ、ボトルバスケットごと起こします。

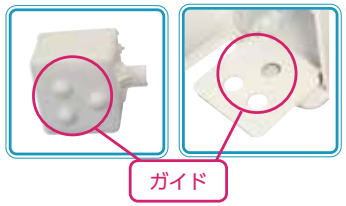
ボトルバスケットを取り出し、ボトル口受け部が上にくるように立てます。

水ボトルとボトルバスケットを床に置き、両方を合わせるように入れると、少ない力で簡単に入れることができます。

注：
傷つきやすい床の上で行うと、床に傷をつけるおそれがあります。ご注意ください。

設置の仕方 2

5 ボトルバスケットの両取っ手を持って、ガイドに沿ってゆっくりとバスケットトレーに乗せてください。



ボトルバスケットの持ち方

ボトルバスケットを入れるときは、両取っ手の中央部分を持って、ゆっくりと水平に押してください。※取っ手が開いたまま入れると、破損の恐れがあります。

※ボトルバスケットをバスケットトレーに乗せるときはゆっくりと行ってください。(破損、水漏れの原因となります。)

6 ボトルバスケットの両取っ手を内側にそろえて、両取っ手の中央を持ってゆっくりと水平に押してください。

注：このとき、奥まで確実に押してください。

⚠注意！

※指や足を挟まないように、また周りに小さなお子様がいないか注意してください。

※勢いよく押すとウォーターサーバーが倒れる危険性があります。ご注意ください。

7 扉の取っ手を持ってゆっくりと扉を閉めてください。

※奥までセットされていないと、扉は閉まりません。

⚠危険！

※乱暴に閉めないでください。扉の取っ手以外を持って閉めないでください。

※指や足を挟まないよう注意してください。

8 電源プラグをコンセントに挿し込んでください。

この時、表示プレートの電源ランプ(青)が点灯します。

9 給水が開始され、タンク内の空気が自動で排出される「自動エア抜き」が完了するまでお待ちください。(1～3分)

タンクに給水するためポンプ作動音がします。冷温水タンクが満タンになればポンプ音は止まります。

設置の仕方 3

10 温水は約 30 分、冷水は約 60 分で使用できます。

温水 80～90℃

冷水 6～10℃

※冷温水の使用方法は 12 ページの「チャイルドロックを利用する」をご覧ください。

11 2 回目からはボトル交換だけでOKです。

ボトルが空になると表示プレートの容器交換ランプ(赤)が点滅し、お知らせします。

ボトル交換は

設置の仕方 ❶～❼ の繰り返し

※水ボトルの交換方法は 13 ページの「ボトル容器交換方法」をご覧ください。

ご使用にあたり1

エコモード

エコボタンを押すことで温水機能を一時的に停止し、**消費電力を抑える**ことができる機能です。

エコモード作動

3 秒間長押し(エコボタンランプが点灯するまで) → エコモード開始

エコボタンランプ(緑)が6時間**点灯**します。

エコモード開始から 6 時間後、自動的に加熱が再開します。(エコボタンランプ(緑)が消灯)

エコモード解除

エコモード中に1回押し → エコモード停止

エコモードが停止(エコボタンランプ(緑)が**消灯**します)。

- フロントパネルのエコボタンを 3 秒間 (エコボタンランプが点灯するまで) 長押しするとエコモードになります。
- クリーンサイクルシステム作動中 (エコボタンランプ点滅中) はエコボタンを押してもエコモードは作動しません。
- エコモード作動時は温水の加熱が止まります。温水の温度は徐々に下がっていきますので、途中で温水を使用したいときはエコボタンを一回押しエコモードを解除して、約30分経ってから使用してください。
- 約6時間後、エコモードが自動的に解除 (エコボタンランプの消灯) されてから約30分後、温水が使用できます。
- 就寝前や、お出かけ前など長時間ウォーターサーバーを使用しない時間帯にエコモードを起動させることをお勧めします。

寝る前など、ウォーターサーバーを使用しない時間帯がお勧めです。

エコモード作動中の6時間は温水が使用できません。

クリーンサイクルシステム

クリーンサイクルシステムとは？

1日1回、熱水を循環させることでサーバー内部をクリーンに保つ機能です。
1日1回の作動時間は任意に設定することができ、以降は約24時間おきに自動的に作動いたします。

クリーンサイクル

クリーンサイクルシステム
作動時間
20分

注意 クリーンサイクルシステム中（20分）は**温水の温度が50度程度になる場合がありますが、サーバーの故障ではありません。**クリーンサイクルシステムが終了すると通常の温水温度になります。

- クリーンサイクルシステム中は、エコボタンランプが点滅しています。
- クリーンサイクルシステム中も一定量の冷水は使用できます。

クリーンサイクル時間の設定方法とは？

電源プラグをコンセントに挿して（電源オン）から、12時間後に「クリーンサイクルシステム」が作動します。それ以降は約24時間おきに**自動**で「クリーンサイクルシステム」が作動します。

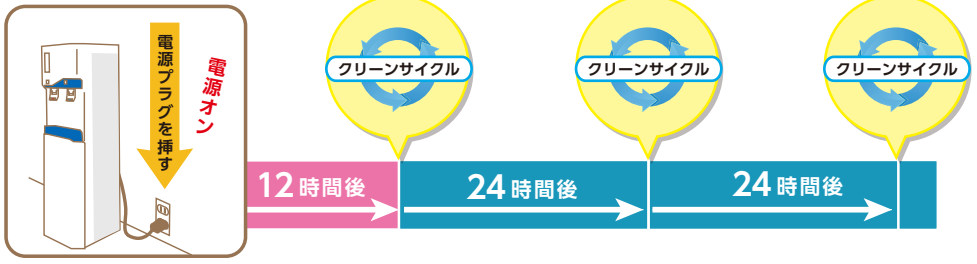
例
15：00に電源オン
↓
毎日、深夜3：00に
クリーンサイクルシステム作動

【設　定　方　法】

1. **ウォーターサーバーに水ボトルをセットします。**
2. **電源プラグを挿します。**
   （使用中の場合は右の「設定変更方法」をご覧ください。）
3. **設定完了です。**

【設定変更方法】

1. **電源プラグを抜き、1分間、間をおいてください。**
2. **設定したい時間の12時間前に電源プラグを挿します。**
3. **設定完了です。**



エコボタンランプの動き

エコボタンランプ　ウォーターサーバーの特殊機能が作動している状態をエコボタンランプでお知らせします。

【エコボタンランプの動きと説明】

状態	エコボタンランプ	所要時間	状態説明
クリーンサイクル クリーンサイクルシステム	点　滅	約20分 ※季節（温度・環境）によって20分以上かかることがあります。	クリーンサイクルシステム作動中のサインです。
エコモード	点　灯	約6時間	エコモード作動中のサインです。 ※エコモードの説明は9ページをご覧ください。

クリーンサイクルシステムとエコモード

クリーンサイクルシステムは、エコモード中でも作動します。

エコモード作動中でも、クリーンサイクルシステムは設定時間どおりに作動します。

お休み前にエコモードを作動しても問題ありません。

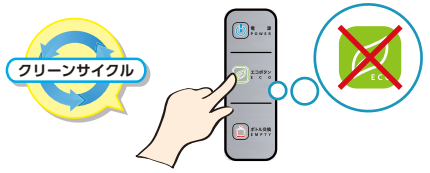
クリーンサイクル　設定時間に作動します。20分

エコモード 6時間

クリーンサイクルシステム作動中、エコモードの使用できません。

クリーンサイクルシステム作動中（エコボタンランプ点滅中）はエコボタンを3秒長押ししてもエコモードに切り替わることはありません。
20分後、クリーンサイクルシステムが終了（エコランプ消灯）してからエコモードを作動させてください。

クリーンサイクルシステム作動中はエコボタンを押してもエコモードは作動しません。

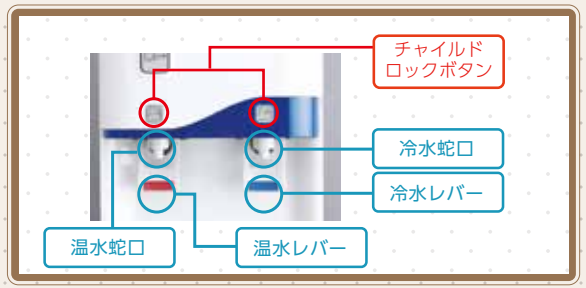


注意 停電時やブレーカーが落ちた場合、クリーンサイクルシステムの設定が解除されます。その際は「設定変更方法」の手順で設定し直してください。

チャイルドロックを利用する

チャイルドロックを利用した場合の冷温水の出し方

冷温水蛇口にはチャイルドロック（安全装置）が付けられていますので、レバーを押すだけでは注水されません。右の手順に従って冷温水を出してください。



1

各冷温水レバーの上にあるチャイルドロックのボタンを押す。

2

チャイルドロックボタンを奥まで押したまま、各冷温水レバーを押す。

高温注意 注：冷温水レバーは必ずコップや容器で押してください。

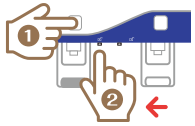
チャイルドロックを利用しない

チャイルドロックを利用しない場合の冷温水の出し方

本製品は便利なチャイルドロックフリー機能が備わっています。

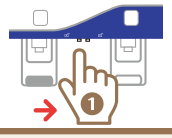
チャイルドロックを解除する場合

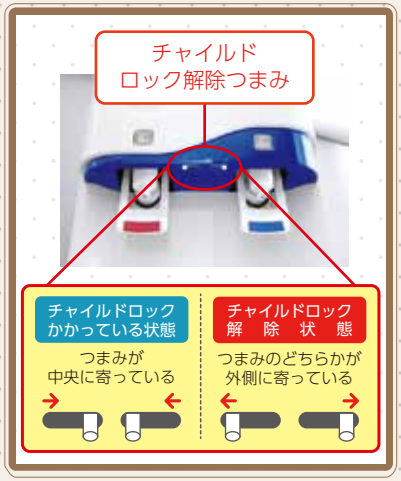
1. 解除したい方の「チャイルドロックボタン」を押しながら、
2. 解除したい方の「チャイルドロック解除つまみ」を外側へスライドさせる。



チャイルドロックをかける（元に戻す）場合

1. チャイルドロックをかけたい方の「チャイルドロック解除つまみ」を内側へスライドさせる。





安全に使用するために（警告）

本機は冷水・温水レバーにチャイルドロックがついております。通常使用される場合は、チャイルドロックをかけた状態でご使用ください。利用者が機能を理解し安全に使用することができる大人で、また利用者が限定される状態のときのみにこの機能をお使いください。チャイルドロックを解除した状態で、小さなお子様・不慣れな方の手に触れないようにしてください。

ボトル容器交換方法

容器交換ランプ(赤)が点滅

容器交換ランプ(赤)が**点滅**をはじめるとボトル容器のお水が空になったサインです。右の手順で容器を交換してください。

1 扉を開け、ボトルバスケットの両取っ手をそろえて持ち、手前にゆっくりと引き出してください。

2 ボトルバスケットの取っ手を開き、空ボトル容器を垂直に取り出してください。

ボトル容器交換の目安と注意点

＊ボトル容器交換時には電源を切らないでください。
＊ボトル容器内に多少水が残っていても、容器交換ランプ(赤)が点滅したときは交換してください。
＊初めてボトル容器を設置する場合、サーバー内のタンクに水が給水される為、初回は水の減りが早いと思われますが、2 回目以降は初回のような減り方はしませんのでご安心ください。
空のボトル容器を抜く際、硬くなっている場合があります。顔を近づけず周りに人や物がないか充分に確認しケガに注意してください。

ボトルバスケットを出し入れするときの注意点

ボトルバスケットを本体から取り出すときは、必ず両取っ手を内側にそろえ、両取っ手の中央を持って水平にゆっくりと引き出してください。

そろえて持つ

取っ手が開いた状態で出し入れすると破損の原因となります。

交換後のボトル容器は

ボトル容器に使用されております PET 樹脂は、リサイクルが容易な地球環境に優しい素材となっています。飲み終わった後、ボトル本体・ボトルキャップ・持ち手シールに分解し、ボトル本体は市町村の資源ごみとして捨ててください。ボトルキャップ・持ち手シールはプラスチックごみとして 各自治体の規則に基づき、処分してください。

注：各自治体の規則に基づき、リサイクル処分等をご判断ください。

手で簡単に分解できます

キャップ素材：
ＰＥ製（ポリエチレン）
持ち手素材：
ＰＰ製（ポリプロピレン）

ボトル素材：
ＰＥＴ樹脂

水抜き方法

（用意するもの）● バケツ等 ● タオル

ドレーン

ドレーンの蓋（キャップ）は2 層式です。

取り外しの際は火傷やケガ、また小さなお子様が部品を飲みこまないように十分ご注意ください。

長期間使用しないときは

2週間以上外出される場合は、電源を切り、水を抜いてください。再度ご使用される場合は、7～9 ページの「設置の仕方」の手順で新しい水を入れてご利用ください。

1 電源プラグをコンセントから抜く。
約3時間放置する。
＊温水タンクの温度を下げるための時間です。

2 コップなどで受けながらチャイルドロックを解除し**冷水レバー**を押して排水してください。
※水が出なくなるまで排水してください。

3 ドレーンキャップを取り外します。このときドレーンゴムは、まだ外れないようになっていますが、念の為バケツを用意しておいてください。

4 ドレーンゴムを手前に引き抜くと同時に排水されます。バケツ等で受けながら作業を行ってください。

高温注意 タンク内の水は熱湯状態です。水抜きを行う場合は電源プラグを抜いてから３時間ほど放置してから行って下さい。（火傷には十分ご注意ください。）

故障かな!? と思ったら

水が出ない。（冷水・温水）

ボトル容器に水がない状態です。（タンクに水は入ってますが、新しいボトル容器を挿さないと出ない仕組みになっています。）	空炊き防止も含めて、多少ボトル容器に水が残っていても、新しいボトル容器と交換してください。（1ボトルに容量以上の水が充填されています。）ボトル交換ランプ（赤）が点滅したら交換のサインです。ボトルを交換してください。
チャイルドロックを押さず冷温水レバーを押している。	フロントパネルにあるチャイルドロックを押しながら冷温水レバーを押してください。
電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントに挿し込んでください。
停電、またはブレーカーが切れている。	ご自宅、オフィス等の電気の配電盤を点検してください。
扉が開いている。	扉をカチッと音がするまで閉めてください。
クリーンサイクルシステムが作動中（エコボタンランプ点滅中）である。	クリーンサイクルシステム作動中は少量（温水コップ2杯程度・冷水コップ5杯程度）であれば使用できますが、クリーンサイクルシステムが作動した直後は温度がぬるくなる場合があります。20分後には通常使用できます。
表示プレートの3つのランプが全て消灯している。	電源プラグを抜いて数秒後に挿し直すと青いランプが数秒点灯後、3つのランプがすべて消灯する。→故障のサインです。本体を交換させていただきます。 電源プラグを抜いて数秒後に挿し直しても、3つのランプがすべて消灯のままである。 →停電、またはブレーカーが切れている。自宅、オフィス等の電気の配電盤を点検してください。 →ヒューズが切れている。本体を交換させていただきます。 →ウォーターサーバーの電気回路の故障の可能性があります。本体を交換させていただきます。

エコモードにならない（エコボタンランプが点灯に変わらない）

クリーンサイクルシステムが作動中（エコボタンランプ点滅中）である。	クリーンサイクルシステムが終了（20分後エコボタンランプ消灯）を待ってから、エコボタンを3秒間（エコボタンランプが点灯するまで）長押ししてください。
エコボタンを完全に押していない、または長押しする時間が短すぎる。	エコボタンの中央を3秒間（エコボタンランプが点灯するまで）長押ししてください。

冷水・温水が出ない。（冷たい水にならない）（お湯にならない・ぬるい）

冷水の出し過ぎ、または冷却時間が短すぎる。	一度に大量に出さないようにするか、時間をおいて使用してください。
温水の出し過ぎ、または加熱時間が短すぎる。	一度に大量に出さないようにするか、時間をおいて使用してください。
設置場所の温度が高い。	直射日光の当たらない風通しの良い場所に設置してください。
背面の放熱部にホコリが詰まっている。	背面放熱部（黒い金網部分）を清掃してください。
ウォーターサーバーの背面が壁の近くに設置されている。	背面を壁より15㎝以上離して、背面放熱部からの熱が逃げるようにしてください。
エコモード（エコボタンランプ点灯）になっている。	エコボタンを1回押してエコモードを解除してください。（約30分以内で温水が適温になります。）
エコモード終了直後である。	約30分以内で温水が適温になります。
クリーンサイクルシステムが作動中（エコボタンランプ点滅中）である。	クリーンサイクルシステム作動中は少量（温水コップ2杯程度・冷水コップ5杯程度）であれば使用できますが、クリーンサイクルシステムが作動した直後は温度がぬるくなる場合があります。20分後には通常使用できます。

表示プレートの3つのランプが全て消灯している。	電源プラグを抜いて数秒後に挿し直すと青いランプが数秒点灯後、3つのランプがすべて消灯する。 →故障のサインです。本体を交換させていただきます。 電源プラグを抜いて数秒後に挿し直しても、3つのランプがすべて消灯のままである。 →停電、またはブレーカーが切れている。自宅、オフィス等の電気の配電盤を点検してください。 →ウォーターサーバーの電気回路の故障の可能性があります。本体を交換させていただきます。

ボトル交換後、冷水もお湯も出ない。

ボトル挿込口とボトルキャップの接続不備。	ウォーターサーバーのボトル挿込口とボトルキャップをきちんと接続し直してください。（8ページ「設置の仕方（2）❻〜❼参照。）
扉が完全に閉まっていない。	扉をカチッと音がするまで閉めなおして、表示プレートの容器交換ランプ（赤）が消灯するのを確認してください。
表示プレートの3つのランプが全て消灯している。	電源プラグを抜いて数秒後に挿し直すと青いランプが数秒点灯後、3つのランプがすべて消灯する。 →故障のサインです。本体を交換させていただきます。 電源プラグを抜いて数秒後に挿し直しても、3つのランプがすべて消灯のままである。 停電、またはブレーカーが切れている。自宅、オフィス等の電気の配電盤を点検してください。 ウォーターサーバーの電気回路の故障の可能性があります。本体を交換させていただきます。

水が漏れている。

ボトル挿込口とボトルキャップの接続不備。	まずボトル容器を外し、電源プラグを抜いてください。 ウォーターサーバーのボトル挿込口とボトルキャップをきちんと接続し直してください。（8ページ「設置の仕方（2）❻〜❼参照。）
排水のためのドレーンキャップがゆるんでいる。	背面のドレーンキャップがゆるんでいる場合は、締めてください。
ボトルが損傷している。	ボトル容器に傷がある場合は、新しいボトル容器と交換してください。
表示プレートの3つのランプが全て消灯している。	故障のサインです。本体を交換させていただきます。※販売店へご連絡ください。

騒音（ノイズ）がする。

ウォーターサーバーが傾いている。	ウォーターサーバー本体を水平に保ってください。
壁や他の製品にウォーターサーバーが触れている。	ウォーターサーバーを壁や他の製品から離してください。（4ページ「設置上の注意」参照。）
冷温水を使用したときのポンプ作動音。	数分お待ちください。（冷温水タンクが満タンになればポンプ音は止まります。）
クリーンサイクルシステムが作動中（エコランプが点滅中）　である。	クリーンサイクルシステム作動中はポンプが作動します。20分後には停止します。

冷温水蛇口から白い結晶物が出る。

加熱や冷却によりミネラルが結晶化する。	天然のミネラル成分が結晶化したものですので、飲んでも問題ありません。

※上記以外で不明な点などがございましたら、販売店へご連絡してください。